

広報 にしあいづ



友だちたくさんできるかな...

4月4日、平成19年度新郷保育所入所式が行われました。

奥川・新郷地区の児童数が減少し、健全な保育所運営が難しくなったため、今年度から、新郷地区児童10名と奥川地区児童4名を、新郷保育所において保育することになりました。

児童たちは、例年よりにぎやかな入所式にうれしそうに、新しい友だちとも仲良く遊んでいました。

主な内容

- 真の豊かさを実感できるまちづくりのために
平成19年度予算のあらまし..... P2~5
- 地域の環境をみんなで守ろう！
「農地・水・環境保全向上対策」..... P6~7
- すべてにやさしい人間の育成
平成19年度教育目標・重点目標及び重点施策..... P8~9

Nishiaizu NO.583

2007 5月号
(平成19年)

編集と発行 福島県耶麻郡西会津町役場
☎0241-45-2211 (総務税政課)
<http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/>

予算は、これからの1年間を「町がどのように事業を行っていくのか、またその財源はどうなっているのか」を数字に表したものです。

本号では、平成19年度一般会計及び特別会計の当初予算について、歳入及び歳出の状況をお知らせします。



一般会計

一般会計は行政運営を行うための基本的な経費です。

国の平成19年度地方財政計画によると、極めて厳しい地方財政の現況等を踏まえ、歳出面においては歳出全般にわたって見直しを行うことにより、歳出総額の計画的な抑制を図る一方、歳入面では地方税負担の公平適正化の推進と、安定的な財政運営に必要な地方税・地方交付税などの一般財源総額の確保を図ることとしています。

このようなことから、所得税から住民税への税源移譲や定率減税の廃止により、地方税を15.7%の伸びと見込む一方、所得譲与税が廃止になったことから地方譲与税は81.0%の減、定率減税の廃止に伴い地方特例交付金は61.8%の減、地方交付税は税収の増が見込めることから4.4%の減となりました。

このような状況を踏まえ、本町の平成19年度当初予算は、自立のまちづくりに向けた効率的な行財政の実現を図るため、歳入の確保に努めるとともに、財源の重点的かつ効率的な配分と自立宣言に沿った独自の特色あるまちづくりを積極的に進めることのできる予算とすべく編成しました。

歳入では、税源移譲や定率減税の廃止から町税が伸びたものの、地方譲与税や特例交付金が大幅な減額となりました。また地方交付税も減少する見込です。このため不足する財源として財政調整基金（町貯金）等からの繰入が多くなりました。

歳出では、道路新設改良費が減少しましたが、災害復旧に要する経費やケーブルテレビデジタル化に要する経費が増額となっています。

その結果、一般会計予算総額は49億9,200万円となり、前年度に比べて2.2%の増となりました。

「歳入」

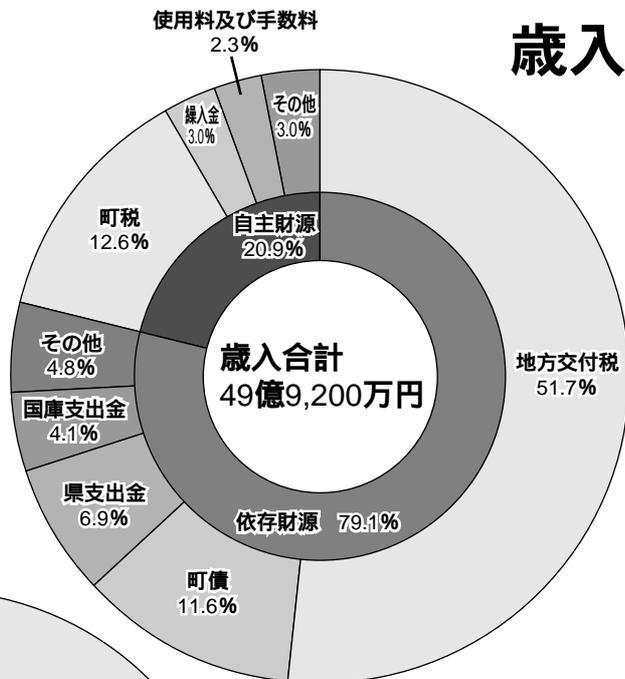
歳入の項目別の構成比は、国から交付される地方交付税が最も多く、次いで町税、町債（借入金）、県支出金、国庫支出金の順となっています。

その内容は次のとおりですが、税源移譲等により町税が増となる一方、地方譲与税や地方特例交付金が減少した結果、依存財源（国や県が金額を決定し交付するもの）が昨年度より1.2ポイント減少しました。しかし依然として79.1%と高い比率であることから、自主財源（町税や使用料・手数料など、町が

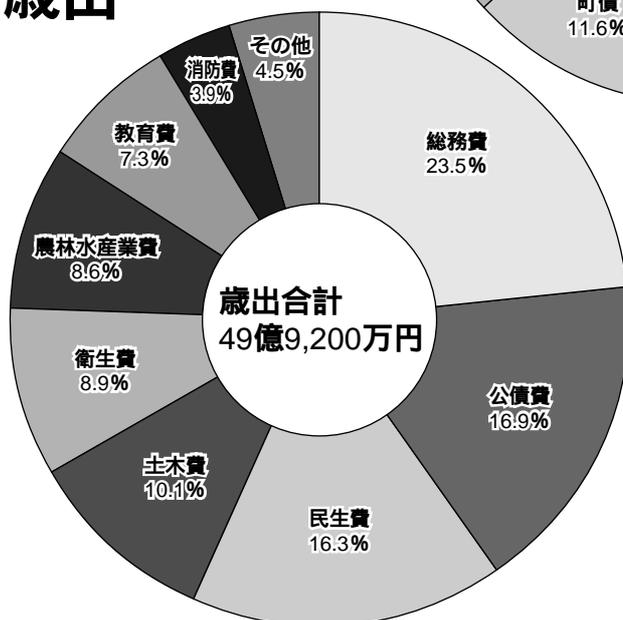
町民1人当たりの 歳出予算額

議会費 9,885円	総務費 138,926円
民生費 96,300円	衛生費 52,433円
商工労働費 5,419円	農林水産業費 51,043円
土木費・ 災害復旧費 70,540円	消防費 23,076円
教育費 43,158円	公債費 99,958円

歳入



歳出



自主的に収入するもの（の確保が課題となっています）。

【依存財源】

「地方交付税」

国の配分総額が減少したことや、算定の基礎となる人口の減少、計算の簡素化を図るための新交付税の影響などにより、前年度当初予算との比較では、2,000万円（0.8%）の減（前年度交付決定額との比較では1億2,467万円（4.6%）の減）となりました。この結果、歳入予算に占める割合は昨年度より1.5ポイント減って51.7%となりました。

「町債（借入金）」

道路や施設を整備するために借り入れるお金で、県知事の許可により借りています。道路新設改良に要する借入れは減りましたが、ケーブルテレビデジタル放送に必要な設備や伝送路改修の費用を見込んだことから、6,520万円（12.7ポイント）の増となりました。

「県支出金」

耐雪型パイプハウス整備については、設置棟数の減少から減額となりましたが、災害復旧事業費の増額や国・県の選挙に要

する経費、新たに森林環境交付金が増額となったことから、5,799万円（20.3%）の増となりました。

「国庫支出金」

災害復旧に係る経費は増えた一方、道路新設改良事業の一部完了や除雪機械の購入補助金がなくなったことなどから797万円（3.8%）の減となりました。

【自主財源】

「町税」

税源移譲や定率減税の廃止などにより個人住民税が増えたことなどから、4,587万円（78%）の増となりました。

「繰入金」

不足する財源として、財政調整基金から1億2,000万円（前年度比6,000万円増）を繰入したことなどから、4,235万円（38.8%）の増となりました。

「使用料及び手数料」

新たにケーブルテレビデジタル放送の使用料が見込めることや、インターネット使用料が増える見込みから198万円（1.8%）の増となりました。

実施する主な事業（前年度比較）

衛生費 4億4,264万円（8.4%）

高齢者インフルエンザ予防接種事業委託料	1,052万円
各種検診事業委託料	4,840万円
食育・栄養調査事業委託料	280万円
喜多方広域市町村圏組合負担金（ごみ・し尿処理ほか）	6,838万円
ごみ収集委託料	3,400万円



農林水産業費 4億3,091万円（7.2%）

中山間地域等直接支払事業	6,364万円
園芸ハウス整備事業	1,626万円
県営中山間地域総合整備事業負担金	300万円
農地・水・農村環境保全向上活動支援事業地域協議会負担金	1,225万円
林道開設舗装改良事業	3,900万円
森林整備推進事業委託料	770万円

商工費 4,561万円（0.7%）

町商工会育成補助金	270万円
観光費	529万円

土木費 5億714万円（10.7%）

町道補修事業	1,230万円
除雪機械購入費	630万円
除雪費	1億600万円
道路新設改良舗装費（改良2）	1億8,246万円

総務費 11億7,281万円（21.8%）

住民自治基本条例策定費	254万円
温泉管理業務委託料	3,175万円
さゆり公園管理業務委託料	4,180万円
国際芸術村事業（委託料他）	863万円
道の駅・物産館経費	971万円
ケーブルテレビ運営事業費	6,785万円
ケーブルテレビデジタル化事業	25,449万円
生活バス運行事業費	4,010万円
インターネット運営事業費	2,310万円
町議会議員選挙費	800万円
参議院議員補欠選挙費	859万円
参議院議員通常選挙費	1,130万円



民生費 8億1,297万円（1.8%）

シルバー人材センター活動費補助金	279万円
老人保護措置支弁費	2,139万円
地域ふれあいセンター運営事業委託料	995万円
継続的評価分析支援事業	270万円
後期高齢者医療広域連合負担金	448万円
重度心身障がい者医療費給付事業	1,750万円
知的障がい者施設訓練等支援費	2,031万円
障がい者就労継続支援訓練等給付費	1,406万円
児童手当	4,858万円
保育所業務委託料	1億7,232万円

「歳出」

歳出を项目的に見ると、総務費が最も多く、次いで公債費、借入金金の返済、民生費、土木費の順となりました。その主な内容は次のとおりです。

「総務費」

町の一般管理経費をはじめ、ケーブルテレビ運営経費や生活バス運行費、さゆり公園等の施設管理に必要な経費を計上しました。

前年度との比較では、ケーブルテレビデジタル化に要する経費で1億8,495万円、選挙に要する経費で3,461万円が増額となったことから、2億992万円（21.8%）の増となりました。

「公債費」

借入れの返済が一部完了したことから1,329万円（1.6%）の減となりました。

「民生費・衛生費」

保健・医療・福祉の連携によるトータルケアに係る経費や子育て支援に係る経費、各種検診等に係る経費などを計上しました。

前年度との比較では、新たに

後期高齢者医療広域負担金や継続的評価分析支援事業に係る経費を計上しましたが、在宅健康管理システム購入費が減ったことなどから2,611万円（0.2%）の減となりました。

「土木費」

生活環境整備を図るため、前年度に引き続き野沢柴崎線と徳沢3号線の道路改良に必要な経費を計上しましたが、上原西2号線と下野尻宝川線の工事完了に伴い6,100万円（10.7%）の減となりました。

「農林水産業費」

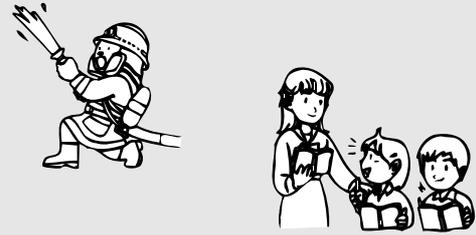
前年度に引き続き、健康な土づくりと健康ミネラル野菜の通年栽培を行うため耐雪型パイプハウス整備費を計上しました。さらに新たな事業として、各自治区の環境整備を図るため、農地・水・農村環境保全向上活動支援事業費及び森林環境税事業費である森林環境交付金事業費、農道や用水路整備のための県営中山間地域総合整備事業負担金を計上しましたが、土地改良事業の元利償還補助金の減額や、耐雪型パイプハウス整備では設置棟数が少なくなったことから前年度に比べて3,336万円（7.2%）の減となりました。

歳入歳出予算総括表

(単位：千円・%)

会計名	平成19年度 予算額	平成18年度 予算額	増減額	増減率
一般会計	4,992,000	4,885,000	107,000	2.2
工業団地造成事業特別会計	88,675	88,675	0	0.0
商業団地造成事業特別会計	5,506	5,506	0	0.0
住宅団地造成事業特別会計	19,868	27,149	7,281	26.8
下水道施設事業特別会計	212,052	204,485	7,567	3.7
農業集落排水処理事業特別会計	378,390	346,886	31,504	9.1
個別排水処理事業特別会計	32,896	35,776	2,880	8.1
老人保健特別会計	1,312,482	1,293,242	19,240	1.5
国民健康保険 事業勘定	1,104,103	990,227	113,876	11.5
特別会計 診療施設勘定	397,738	434,506	36,768	8.5
介護保険特別会計	789,610	785,045	4,565	0.6
簡易水道等事業特別会計	107,392	111,046	3,654	3.3
計	9,440,712	9,207,543	233,169	2.5
水道事業 収益的収支	157,148	162,270	5,122	3.2
資本的収支	74,598	66,852	7,746	11.6
合計	9,672,458	9,436,665	235,793	2.5

消防費 1億9,480万円 (3.9%)
 喜多方広域市町村圏組合負担金(消防費) 1億3,180万円
 消防施設費(小型動力ポンプ軽積載車) 430万円



教育費 3億6,434万円 (1.7%)
 障害児学習支援事業 507万円
 アントレプレナ-委託料 127万円
 スクールバス運行費 4,485万円
 小学校施設改修事業(新小給水管) 399万円
 耐震診断委託料(尾野本小) 160万円
 教育用コンピュータ(小・中学校) 1,069万円
 複式学級緩和対策事業 770万円
 放課後子どもプラン推進事業(学童保育) 276万円

災害復旧費 8,835万円 (154.3%)
 農業施設災害復旧費 過年災 2,850万円
 農業施設災害復旧費 現年災見込 305万円
 林業施設災害復旧費 現年災見込 239万円
 公共土木災害復旧費 過年災 3,028万円
 公共土木災害復旧費 現年災見込 1,180万円

公債費 8億4,385万円 (1.6%)

特別会計

「教育費」
 児童生徒の学力向上と学校教育環境の充実を図るため、小学校のパソコンの更新経費及び教師用のパソコン増設経費、複式学校緩和対策事業費や障害児学習支援事業費、放課後子どもプラン推進事業(学童保育)などの経費を計上しました。なお、中学校周辺環境整備工事が減となったことから、625万円(1.7%)の減となりました。

「消防費」
 消防施設の充実を図るため、小型動力ポンプ軽積載車更新の経費を計上したほか、消防費広域負担金を計上しました。

「下水道事業」
 野沢下小屋地内の供用区域拡大と本町地内の舗装復旧工事、野尻地区の管路工事を実施するほか、橋屋及び八重窪地区の個別浄化槽整備を進めることとしました。

計上しました。
 診療施設では、群岡診療所の内視鏡を更新し、医療施設の充実に努めます。

「国民健康保険」
 国民健康保険に係る各種給付のほか、健康の保持増進、医療費の適正化を図るため、健康寿命延伸事業委託料と人間ドック検診委託料を計上しました。また加入者の負担軽減を図るため、前年度に引き続き支払準備基金から2,000万円の繰入金金を

「介護保険事業」
 介護保険に係る各種給付のほか、介護や支援が必要な状態にならないよう介護予防事業として、機能回復訓練送迎車運行業務委託料、地域包括支援センター業務委託料、温泉リハビリプログラム管理業務委託料、在宅介護者リフレッシュサービス委託料などを計上しました。

地域の環境をみんなで守ろう！

「農地・水・環境保全向上対策」

農地や農業用水等の資源は、食料供給のための生産基盤としてだけでなく、環境や国土保全など多面的な機能を持つ、社会共通の資本です。

本事業は、これらの農村環境を保全管理するため、今まで集落単位で行っていた道路修繕や水路清掃などの共同活動や環境を向上させる事業に対して支援が受けられる事業です。

本号では、事業の内容及び町の取り組み方針などについて、お知らせします。

「農地・水・環境保全向上対策」とは こんな対策です

現状

過疎化・高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、農地や農業用水等の資源の保全・管理が困難になっています。

対策

農業資源は、農村の住環境と一体となっているものであり、その保全を農業者だけでなく地域住民が一体となった共同活動で進めることとし、その支援を行う国の事業です。

本町

本町においては本事業を活用し、共同活動による保全・整備に加え農業の振興、さらには生活環境を守る仕組みを構築するため、町内全地域を対象とし事業に取り組みます。

なお、本事業は平成19年度から23年度までの5年間実施します。

町全体で取り組みます

本事業の実施単位は、原則集落単位となっており、他町村では、数集落、数地域の取り組みとなっています。しかし本町においては、現在、町が進めている「協働による自立のまちづくり」の方針に併せた事業として、町全域で一体となって取り組むこととしました。町全体で取り組むことにより、集落・地域の自立意識の向上や、住民自らの地域づくり、まちづくりへと発展するよう推進していきたいと考えています。

本事業の活動は、農家だけでなく、地域住民や自治会、関係団体を含めた、地域全体の共同活動により、取り組むことにな

ります。

また、事業を円滑に進めるため、町内全体の活動組織として、任意の団体「にしあいづ水・土・里（みどり）環境委員会」が設立されました。

みんなで支える活動組織
「にしあいづ

みどり
水・土・里環境委員会」

水（み） 農業用水路や水環境
土（ど） 農地や農道
里（り） 集落や地域
みどり 豊かな自然環境

委員会には、「全体委員会」と町内の5地区ごとに組織された野沢・尾野本・群岡・新郷・奥川の「地区委員会」があります。

全体委員会

各地区委員会から推薦された自治会長10名と、土地改良区、農業委員会、農協、森林組合の代表で構成され、町全体の事業調整や事業運営の総合調整を担当します。

地区委員会

自治会長や各種団体の代表者などで構成され、地区内の自治会から出された重点事業の事業調整を行います。また地区全体の環境を守り、向上させるための取り組みを計画したり、実践活動を行う組織です。



農地・水・環境保全向上対策説明会

こんな活動が該当します！

実施対象	事業名(活動名)	活 動 内 容	支 援 内 容
全自治区等	基本事業 自治区共同活動	各自治区等において、従来からの活動でもある、農地や集落周りの農道・水路・ため池の見回り点検、草刈り泥上げ、砂利補充等の基本的な維持保全を行います。	自治区等を単位とした活動に対して支援交付金を交付します。 (共同活動支援交付金)
希望自治区等	重点事業	農地・水向上活動	自治区や地域、または団体等を単位とした活動で、重点的・広域的な保全活動に対して支援交付金を交付します。 (農地・水向上活動支援交付金)
		農村環境向上活動	自治区や地域、または団体等を単位とした活動で、農村の環境を保全する活動に対して支援交付金を交付します。 (農村環境向上活動支援交付金)

実施可能自治区等	営農活動支援事業	営農基礎活動	集落全体で環境にやさしい農業への取り組みを行います。	環境にやさしい農業の普及・推進活動に対して支援交付金を交付します。
		先進的営農活動	集落の一定割合以上の農家が化学肥料・農薬を5割以上減らした栽培への取り組みを行います。	左記の取組みに要する集落ぐるみでの活動や、5割低減に取り組むことにより、慣行栽培と比べて増える経費に対して支援交付金を交付します。

みんなで地域をまもり

豊かな自然環境を

次の世代に・

にしあいづ

水・土・里環境委員会役員
(敬称略)

会長 土地改良区副理事長
山口 岩男

副会長 野沢地区自治区長連絡協
議会長 齋藤 宏一

監事 群岡地区自治区長連絡協
議会長 石川 一史

監事 奥川地区自治区長連絡協
議会長 小野木秀一



副会長 齋藤宏一さん
(3町内)

「この事業は、住民のためになる事業だと思います。各自治区で大いに活用し、町全体で団結を深め、自立の町を推進しましょう。みんなで取り組んで、いい町にしましょう。」

【問い合わせ先】

経済振興課農林振興係

☎ 45 4 5 3 1

地域整備課管理係

☎ 45 4 5 3 0

にしあいづ水・土・里環境委員会事務局(土地改良区)

☎ 45 4 2 5 8



すべてにやさしい人間の育成

平成19年度、教育委員会では「生きがいのある町づくり」に向け、「すべてにやさしい人間の育成」を教育目標に掲げ、学校教育・生涯学習の充実による、人間性豊かな人づくりのため、教育活動を推進していきます。
本号では、児童・生徒の教育目標・重点目標を具現化するための各種重点施策についてお知らせします。

学力と体力の向上

安全で安心できる学校教育環境の充実と児童生徒の学力と体力の向上を図るため、ゆとりある教育活動を展開する中で、創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進します。そして基礎的、基本的学力の定着を図り、「確かな学力」を育んでいきます。具体的な取り組みとして、確かな学力の向上や個性を引き出す教育の推進のため、学力向上推進事業を実施します。また、教職員の資質の向上を図るため、学校教育指導委員を委嘱し、研究実践活動に取り組みます。

アントレプレナーシップ教育

アントレプレナーシップ教育は、平成15年度から会津大学清野正哉助教の指導のもと、子どもが将来社会の一員として、一人で生きていくために必要な力、自ら考え行動し、問題を解決していける開拓者精神と自立心」を養うことを目的に実施しています。

本年度においても、児童生徒の「生きる力」を育むため、継続して行っていきます。

語学教育と国際理解の推進

外国語指導助手と国際交流員を継続して配置します。中学生の英語指導をはじめ、小学生や保育所児童、さらには町民の方々にも学年、年齢に応じた計画的な指導により、語学教育の充実と国際理解の推進に努めていきます。



複式学級緩和対策事業

児童一人ひとりに応じた学習指導の一層の充実を図るため、小学校に町単独で採用した講師を配置し、学習内容の習熟に応じた学習指導を行っています。

特別支援教育

様々な障害のある児童生徒の、可能性を最大限に引き伸ばし、その児童生徒が、自立し社会参加するために必要な力を育みます。町単独で採用した学習支援員を必要に応じて配置し、障害のある児童生徒一人ひとりのニーズに沿って、特別支援教育の充実を図っていきます。

ICT社会の教育環境

ICT社会に対応した教育環境の整備をするため、小学校と中学校のパソコンをはじめとする情報機器の更新を行います。情報教育の指導体制と教育環境の一層の充実を図っていきます。



放課後子どもプラン



子育て支援の一環として、下校時間に保護者が就労等により、家庭にいない小学校低学年の児童を対象とした「ひだまり子どもクラブ」と、奥川小学校の児童を対象に地域の方々と先生が協働で運営している「奥川クラブこめらっ子」を引き続き実施していきます。本年度は、新たに新郷小学校と群岡小学校の児童を対象とした「放課後子どもクラブ」をそれぞれの学校区に設置していきます。

教育相談員の設置

教育全般にわたって生じる児童生徒の問題行動で、特にいじめや不登校等の問題解決が大きな課題になっています。児童生徒の様々な問題行動に対処するため、町単独で採用した教育相談員を必要に応じて各学校に配置し、児童生徒の心のケアを行っています。

沖縄・いわき交流事業

「沖縄県大宜味村」と「いわき市立豊間小学校」の児童生徒との交流事業は、児童生徒が異なった地域の気候や生活習慣、食文化等を体験することによって、見識を広め、心身の健全な育成を図れることから、情操教育の一環として引き続き実施していきます。

学校給食とミネラル野菜

平成18年度の学校給食におけるミネラル野菜の年間使用率は、47%でした。安全で栄養価が高く、そして生産者の顔が見える地元のミネラル野菜の使用率を引き続き高めていきます。さらに学校給食においては、児童生徒の食生活の基礎を築くため、食育の充実に努めていきます。



国際芸術村

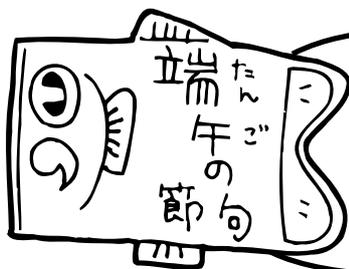


平成16年9月に開村した国際芸術村については、文化の薫り高い芸術の里づくりをすすめるとともに、芸術をおした国際交流や都市と地方を結ぶ交流の拠点として活用します。新郷地区はもとより、町全体の活性化を図ります。本年度は、ポルトガルから2名の芸術家を迎える予定です。

学校施設の耐震診断

法律の定めにより、昭和56年以前に建築した学校施設は、耐震診断と耐震改修を行うことになっています。

学校施設は、教育活動の場であると同時に災害時の緊急避難場所にもなっています。町内5つの小学校は、計画的に耐震診断を行い、耐震診断後は、耐震改修計画を作成し、計画的に改修をしていきます。



すこやかな生活を応援します

いきいきライフ

みんなで考えるタバコと健康

～5月31日から6月6日は禁煙週間です～

タバコの害から身体を守るために

平成15年に開催した『百歳への挑戦パート』で、本町では30歳・40歳代の男女の喫煙率が全国平均を上回り、これを反映するように肺がんによる死亡率の増加が明らかになりました。

タバコの煙には、主流煙と副流煙があります。有害物質は主流煙より副流煙に高い濃度で含まれているため、吸わない人も受動喫煙による様々な健康被害を受けています。

主流煙

喫煙者が吸う
たばこの煙



副流煙

たばこの火から
立ちのぼる煙

女性の喫煙には危険がいっぱい！

子宮がん、骨粗しょう症のほか、流産・死産・早産、低体重児出産、乳幼児突然死症候群の危険が高まります。シミ、肌荒れの原因にもなります。

子どもが吸うと体への害が深刻！

タバコは若い時に吸

いはじめるほどやめにくく、細胞が傷つきやすくなります。そのため、がんや心臓病などにかなりやすくなります。



町喫煙対策推進委員会の取り組み

町では、平成16年度に喫煙対策推進委員会を立ちあげました。その取り組みのひとつとして、平成16年度には、分煙化ガイドラインを作成し、学校・事業所に配布しました。また平成17年度には、家庭での分煙の必要性、未成年者や妊産婦の喫煙防止のためミニガイドラインを作成し、全戸配布したところです。

今後これらのガイドラインに基づき、分煙化を推進して行きます。子どもから高齢者まで、安心して快適に暮らせる分煙の町づくりを目指していきます。



分煙化推進ポスターについて

喫煙対策推進委員会では、昨年、分煙化推進ポスターを募集しました。優秀な作品をポスターにして、今後、集会場や小中学校、役場などに掲示して分煙化を推進します。分煙化の推進には、町民や行政が協力し合い、職場や地域で積極的に取り組むことが大切です。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

保健センター ☎ 47 2306

すごいな！むし歯のない子

3月9日、3歳児9名を対象に健康診査を行った結果、虫歯のない子は5名でした。



長谷川夏花ちゃん
(下野尻・竹雄)



伊藤 那恋ちゃん
(牧・日出男)



齋藤 朱峰ちゃん
(堀越・実)



相原 侑奈ちゃん
(芝草・義孝)



笠間 萌ちゃん
(下小屋・邦浩)

まちの話題



群岡小学校入学式



西会津中学校入学式

希望に満ちた学校生活スタート!!

4月6日、町内の各小・中学校で入学式が行われました。

午前中に行われた小学校の入学式では、ピカピカのランドセルを背負った新1年生が、お父さんやお母さんに手を引かれ登校しました。

午後は、中学校の入学式が行われ、新しい制服に身を包んだ新生が入学しました。

緊張の面持ちの1年生は、新しい環境に不安を感じながらも、希望に満ちた学校生活をスタートさせました。



交通安全、みんなの願い

4月6日から12日までの7日間にわたり、春の交通安全運動が展開されました。

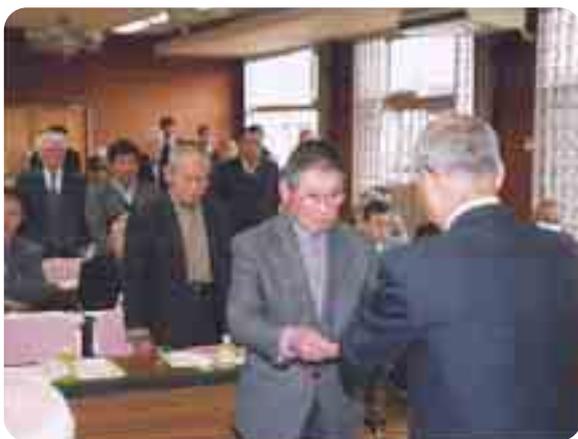
この運動期間に合わせ、町交會会及び交通安全母の會會員の方を中心となり、町内7カ所で毎朝街頭啓発を行いました。街頭啓発では、登校中の小・中学生を見守るとともに、通勤途中のドライバーに向けて、シートベルトの着用を呼びかけるなどして、交通安全を訴えました。

万が一に備えます

4月15日、春季消防検閲が消防団員、女性消防隊員およそ400人が参加し行われました。

野沢町内で行われた分列行進では、きびきびとした一系乱れぬ行進を見せました。

また、大槻橋上流での放水訓練では、本番さながらの動きで真剣に取り組むとともに、日頃の訓練の成果を披露していました。



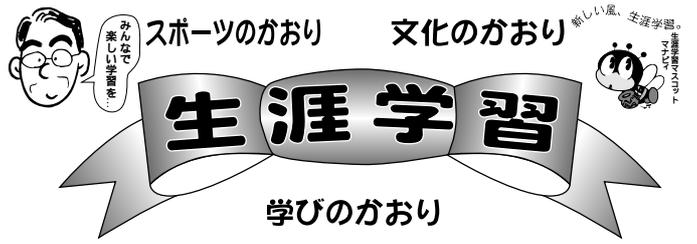
委嘱状を受け取る
平明自治区長の仲川徳喜さん

自治区長の皆さん、よろしくお願ひします

4月15日、平成19年度の自治区長會議が、町公民館で行われ、今年度から新たに自治区長に委嘱される40名に委嘱状が交付されました。

會議では、町から今年度の予算と財政状況、主な重点事業についての説明が行われました。

自治区長の皆さんには、地域と行政の橋渡しとして、町政伸展にご協力をいただくこととなります。



今年から新たな教室が

スタートします

町公民館では、町民の皆さんの様々なニーズにお応えするため、本年度から新たな教室や講座をスタートさせます。

本号では、その新しくスタートする講座を中心にお知らせします。

【にしあいつく触れ愛講座】

皆さんは、西会津の歴史や自然など、誇りを持って何かを紹介できるものがありますか。また、出ヶ原の円満寺観音堂や西平の鳥追観音など、多くの文化財もあります。一度は訪れたことはあっても歴史的背景や由来などをご存知でしょ

うか。

本町の文化財や豊かな自然を見るだけではなく、歴史的背景や由来などを学習することにより、必ず皆さんの見聞も広がります。そして、郷土を愛することができ、次世代を担う子どもたちにその良さを伝えていただけるとともに、自信を持って町を紹介できるのではないのでしょうか。そして、子どもたちも本町の良さが分かり、郷土を愛し、将来地元に戻って来ることでしょう。

この講座は5月中旬からスタートします。



国重要文化財「円満寺観音堂」

【エコクラブ】

昨年は、森林環境交付金の一部を活用し、本町の豊かな自然を守り後世に伝えるため、各種講座等を通して学習会を行ってきました。本年度も自然探勝などを行い、郷土愛と森林保護の心を育んでい

きますが、新たに「エコクラブ」を開催

し、親子を対象として自然をフィールドとした活動を行い、親子の絆と子どもの忍耐力なども育んでいきます。

第1回目の学習会は、6月10日(日)にウォーキングを行います。夏にはキャンプなど、四季の特徴を活かした活動を年4回実施します。

【ふるさとわんぱく塾】



昨年度の少年教室から「化石発掘体験」

昨年度までは、野沢・尾野本・群岡の各小学校児童を対象に、3・4年生と5・6年生に別れ、少年教室を開催しました。いろいろな体験活動をとおして、青少年の健全育成と仲間づくりを支援してきました。

本年度は、3年生から6年生までの児童を対象として一クラスでの教室を開催

し、上級生は下級生を育成し、下級生は上級生を敬い、そして下級生が上級生に進級した時は、今度は下級生を育成するといった縦のつながりを持たせながら5月12日(土)から活動していきます。

【郷土史ゼミナール】

「郷土史ゼミナール」は、平成17年度まで町の歴史を学び、郷土史に対する理解を深める目的で開催してきました。

今回、町民の皆さんからの要望により郷土史ゼミナールを6月から開催し、現地研修も含め、実りある講座にしていきます。

前ページで紹介した「ふるさと触れ愛講座」は、広く浅く歴史や自然を学習しますが、本講座では詳しく歴史のひもを解いていきます。

【女性カレッジ】

働く女性等を対象に、自発的な学習意欲を高め、豊かな人間性、資質や能力向上を図るための講座を6月から開催する予定です。

【にしあいつくッキングスクール】

食をめぐる現状は、肥満や生活習慣病の増加「栄養バランスの偏った食事や不規則な食事の増加」「食の安全性の問題」など、食育に関して全国的に問題となっています。また、子どもの朝食の欠食率の増加から学力低下につながっていると

も言われています。

食育とは「生きるうえで基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること」です。

若い女性や子どもを持つ母親を対象として料理教室を行い、食育について学習し、健康な町づくりを推進していく予定です。

その他にも昨年度実施した講座等を行います。後日、募集のご案内をいたします。ぜひご参加ください。

【出前講座】

公民館事業に参加しにくい方々に対して、学習しやすいように地区の集会所等を活用して、学習の機会を提供するため、出前講座を行います。

昨年度までは冬期間の実施でしたが、本年度は、年間を通して実施します。

各自治区2回までですが、歴史講座・健康講話・民謡・ダンス・料理・ストレッチなど、ご要望がありましたら、自治区長を通して公民館または新郷連絡所、奥川支所へお申込ください。

講座等へのお問い合わせは、町公民館へお願いします。

町公民館 ☎45 3244

「ひだまり子どもクラブ」が

スタート!

4月2日(月)に高齢者生活支援ハウスにおいて「ひだまり子どもクラブ」がスタートしました。

このクラブは、働く保護者への支援と、児童の健全育成及び事故防止を図るため、野沢小学校と尾野本小学校の児童を対象に平成17年度から始まりました。本年度は27名を受け入れし、年間を通して月曜から金曜日の午後3時から6時まで行い、新たに夏休み期間中などは午前8時30分から子どもを預かり、働く保護者の支援対策を充実させています。



放課後対策「ひだまり子どもクラブ」

群岡と新郷「放課後子ども教室」

5月からスタート

放課後対策として、子どもの安全確保のため群岡・新郷・奥川の各地区で「放



地域が育む、地域の子ども (奥川こめらっ子)

課後子ども教室」を実施します。

奥川地区では、奥川クラブこめらっ子を平成14年度から行ってきました。本年度は4月29日(日)に開講式と親子でソフトボール大会を奥川小学校校庭で行いました。平日は月・金曜日に子どもの安全確保と合わせていろいろな活動をしていきます。

群岡と新郷地区では、5月中旬から行うことで地区の方々や小学校、保護者と調整しています。平日の活動日としては、群岡地区は月・金曜日、新郷地区は火・木曜日の予定です。

第9回奥川ウォーキング開催

4月15日(日)好天のもと、奥川へとへとクラブの主催で奥川ウォーキングが開催され、子ども16名を含む32名の参加がありました。



松賀岡公園を通過 あと3kmです...

コースは、奥川小学校を出発し、山浦・松峯を経由し、小山までつづく旧街道を通り、学校までの約8kmでした。旧街道の途中にある松賀岡公園では、矢部征男さんによる当時の公園が整備された状況や歌碑に書かれている2句の説明を受けるなど、有意義な1日を過ごすことができました。

お詫びと訂正

全戸配布した「スポーツカレンダー」に誤りがありました。訂正し、お詫びします。

誤：7月8日尾野本地区バレーボール大会

正：7月8日尾野本地区ソフトボール大会

みんなの広場



田部

薫
さん

(西平)

目黒久美子さん(4月号から)メッセージ
いつもお世話になっています。

あなたの趣味は?
カラオケ(演歌)

あなたの特技は?
料理(カレーづくり)

熱中していることは?
会社の仕事

あなたのモットーは?
無心で情熱を絶やさず、今を生きること

自分を一言で表現するとしたら?
正直者だと思います

これからやってみたいことは?
子どもたち(娘)2人も社会人になり、まずは一安心。近い将来、家内とともに温泉巡りの旅を楽しみたいと夢見ています

最近感動したことは?
テレビで「男たちの大和」を見ました。戦争の悲惨さと若くして家族、そして愛する人との別れなど、当時の生きる人との思いに考えさせられました

次の方を紹介してください。
E・Yさん(中ノ沢)

あなたの宝物は?
「子どもの頃の着物」
「私が生まれたとき、奥川の母の実家から送られてきたそうです。生まれたばかりの私が、これを着てお宮参りに行ったと思うと、感無量になります。これから私も母の大切な宝物です」



上野尻俳句会

文

芸

友と会ふふはりとかけける春シヨール

会田寿美子(森野) しよんぼりと一人の昼餉春の雲

長澤 幸(芝草)

雑貨屋の跡に薬屋春惜しむ

小林 佳子(上野尻) 膝ついて靴ひも結ぶあたたかし

廣瀬ひでお(白坂)

お茶うけの色懐かしきあられ餅

高橋 栄子(上野尻)

(三月例会)



誰かに読んでもらいたいこの一冊

このコーナーは、西会津中学校図書館会員の方に、お気に入りの図書館蔵書を一冊紹介していただくコーナーです。
今月は、長谷川恭子さん(梨平)にお勧めの一冊を紹介いただきました。

『日本一短い「母」への手紙 福井県丸岡町編・大巧社』
この本は、「母」から生まれた人に読んでもらいたい一冊です。

「この本は、平成5年度第1回「一筆啓上賞 日本一短い「母」への手紙」の受賞作品を本にまとめたものです。この本の中には、「母」への思いが短い文章の中に、様々な表現で表されていて、「一つひとつの作品に、「ドラマ」があり、とても感動しました。」
と教えていただきました。

「この本の中で、1番印象に残っている作品を尋ねると
『話せなくてもいい寝たきりでもいい生きていてくれるだけで ホッカホカなんだ』(岐阜県40歳の作品)が印象に残っています。私事ですが、小学校6年生のときに突然母が亡くなり、そのときの私の想いと同じだったので、とても印象に残っています。

私自身、何ひとつ孝行ができなかったので、この本を読みながら、「母」を想っています。

ぜひ、人生の節目の度に、読み返してもらいたい一冊です。」
と紹介いただきました。



春の行政相談・人権相談

総務省では、本町を担当する行政相談員として、山本義子さんを委嘱しています。

行政相談員は、国や特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、その解決をお手伝いします。

5月21日(月)から27日(日)までの1週間は、「春の行政相談週間」です。

同時に、特設人権相談所を開設しますので、いじめや家庭内の問題・近隣間のトラブルなど、この機会にご相談ください。相談は無料で秘密は堅く守られます。



山本 義子さん
(9町内2)

日時及び会場

5月22日(火)

午前9時30分～正午 保健センター
午後1時～3時30分 町公民館
行政相談に合わせて、午前10時～午後3時まで、平成19年度県政巡回相談も開設されます。

5月23日(水)

午前9時30分～正午 新郷連絡所
午後1時～3時30分 奥川小学校

人権相談員

沼澤望東子さん(牛尾)
平野 茂穂さん(上野尻)
猪俣ナヲ子さん(道目)

【問い合わせ先】

総務税政課総務係 ☎45-2211



トータルケア修学資金

お貸しします

町では、保健師、理学療法士、介護福祉士などをめざし、修学または修学しようとしている方のうち、経済的理由により援助が必要な方に対して、予算の範囲内で修学資金をお貸ししています。

対象者

- ・ 町内に住所のある方
 - ・ 修学のために転出した方
 - ・ 町内の高校を卒業した方
- 修学資金
月額36,000円以内(無利子)

詳しくは、問い合わせ先まで【申し込み・問い合わせ先】

健康福祉課国保医療係

☎45 2214

町職員等の人事異動

- 退職(3月31日付)
伊藤重人(地域整備課)
長谷川三志(奥川支所)
任命(4月1日付)
副町長山口岩男
町専門員齋藤正健
異動(4月1日付)
総務税政課 副主査小林和洋(教育課)

まちづくり政策室 副主査佐藤実(経済振興課)

健康福祉課 主査山本公子

(出納室) 主査三留昭生(議会事務局) 副主査伊藤千佳子

(経済振興課)

経済振興課 課長補佐兼農業委員会事務局長田崎宗作(経済振興課)

地域活性化係長五十嵐博文(地域整備課) 主査五十嵐悦子(健康福祉課) 主査高津典通(教育課) 主査上野静江

(町民情報課)

地域整備課 課長杉原徳夫

(地域整備課)

課長補佐兼管理係長酒井誠明(地域整備課)

建設係長平井克美(地域整備課)

主査岩淵東吾(総務税政課)

副主査齋藤哲(経済振興課)

出納室 会計管理者兼室長長谷川文男(出納室) 副主査江川すが子(経済振興課)

教育課 主査佐藤忠栄(経済振興課)

奥川支所 支所長鈴木義孝

(地域整備課)

議会事務局 主査齋藤正利

(健康福祉課)

復職

総務税政課主査小柴芳成 健康福祉課副主任保健師二木美津子 総務税政課主事佐藤晋子

新採用職員紹介



町民情報課
渡部美由紀
(1町内)

体を動かすことが好きで、弓道やボクシングをやっています。何ごとにも挑戦し、失敗しても次に活かせるようがんばります。



経済振興課
小澤 伸行
(喜多方市)

町民の方と明るく元気にふれ合い、皆さんに信頼されるような職員をめざします。よろしくお願ひします。



教育課
齋藤 孝洋
(上野尻)

全てのことが初めてですので、一つひとつ確実に仕事をこなしていきたいです。とにかく全力でがんばります。

戸籍の窓口

■平成19年4月1日現在	前月比
人口 8,442人	-57人
男 4,048人	-28人
女 4,394人	-29人
世帯 2,942世帯	-10世帯

■3月受付分 敬称略

お誕生おめでとう



武藤 一騎くん 智一・佑子 八重窪

小柴 大和くん 弘二・みや子 戸中

ご結婚おめでとう



齋藤 正利 山口
相原 紀子 1町内

二瓶 光 安座
長澤 陽子 いわき市

お悔やみ申し上げます

渡部 勝喜(57)とめよ	夫	松尾
目黒 義正(90)正	父	松尾
渡辺 澄枝(61)常男	母	西林
鈴木 三郎(83)キチ	夫	山口
増子 ミキ(88)正	母	上野尻
佐藤 三二(77)静子	夫	白坂
貝沼 智子(44)茂雄	妻	小清水
長谷沼 市平(78)徳義	祖父	小清水
長谷川 三郎(86)律	夫	梨平

5月の納税等

水道料金・下水道料金
インターネット使用料
ケーブルテレビ使用料
納期限 5月10日(木)
土地改良区一般賦課金
(全期)
納期限 5月31日(木)

今月の
心配ごと相談日

日時 5月7日(月)
25日(金)
午前9時~
場所 老人憩の家
電話 45-4259

5月の西会津診療所土曜診療日

5月19日(第3週)受付時間11時まで

西会津診療所 ☎45-4228

休日当番医(5月)

日	地区	医療機関名	電話番号
13 (日)	喜多方市	県立喜多方病院	0241(22)2181
		手代木医院	0241(22)0034
	会津若松市	黒河内内科神経科医院	0242(26)7815
		扇町渡部小児科アレルギー科医院	0242(25)5515
		佐瀬皮膚科医院	0242(33)1122
	会津坂下町	坂下厚生総合病院	0242(83)3511
20 (日)	喜多方市	小野病院	0241(22)0414
		鳴瀬病院	0241(24)3333
	会津若松市	アピオ・リウマチクリニック	0242(32)2277
		さとう小児科医院	0242(24)0830
27 (日)	喜多方市	有隣病院	0241(24)5021
		ひらの医院	0241(22)3135
	会津若松市	さいとう内科胃腸科クリニック	0242(38)3717
		浜崎小児科医院	0242(27)0951
		志波医院	0242(22)0289
		佐原病院	0241(22)5321
6/3 (日)	喜多方市	福田耳鼻咽喉科医院	0241(24)4187
		遠山胃腸科内科医院	0242(24)8911
	会津若松市	いづかファミリークリニック	0242(32)3330
		えんどうクリニック	0242(33)0700
会津坂下町	菅原医院	0242(83)2311	

休日当番歯科医(5月)

日	地区	医療機関名	電話番号
13 (日)	喜多方市	小汲歯科医院	0241(22)0154
	会津若松市	渡部(博)歯科	0242(22)1124
20 (日)	猪苗代町	佐藤歯科医院	0242(62)3085
	会津若松市	けいこ歯科	0242(29)0550
27 (日)	会津坂下町	酒井歯科医院	0242(83)1582
	会津若松市	いしかわ歯科	0242(75)5550
6/3 (日)	喜多方市	北見歯科医院	0241(22)4350
	会津若松市	中央歯科	0242(27)3065

緑の募金のお願い 5/31まで

緑の募金の収益金は、環境保全に利用されています。ひとりひとりの善意が緑を育てます。ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

経済振興課農林振興係 ☎45-4531